

第5回東京都市圏物資流動調査結果について【速報版】

1. 第5回東京都市圏物資流動調査の概要について

(1) 調査の目的

総合的な都市交通計画の検討のため、東京都市圏をとりまく物流の現状から課題を抽出し、今後の物流のあるべき姿に向けた対策を検討する調査を行っています。

(2) 調査の対象

東京都市圏に立地する事業所の内、物流に関連する業種の中から、約14万事業所を無作為に抽出し、事業所機能調査を実施しました。

(3) 調査の内容

平成25年度の事業所機能調査では、約4万4千事業所の方々にご回答をいただき、各事業所における物流機能、立地特性、発生集中量、搬出・搬入圏域といった基礎的な情報を把握しました。

東京都市圏における物流に対する対策の必要性

I 郊外部や臨海部における物流施設の立地ニーズへの対応

II 物流機能と住宅等の混在問題への対応

III 都市環境の改善と物資輸送の効率化の両立

IV 中心市街地における端末物流を原因とした都市交通問題への対応

V 大規模災害時も機能する物流システムの構築

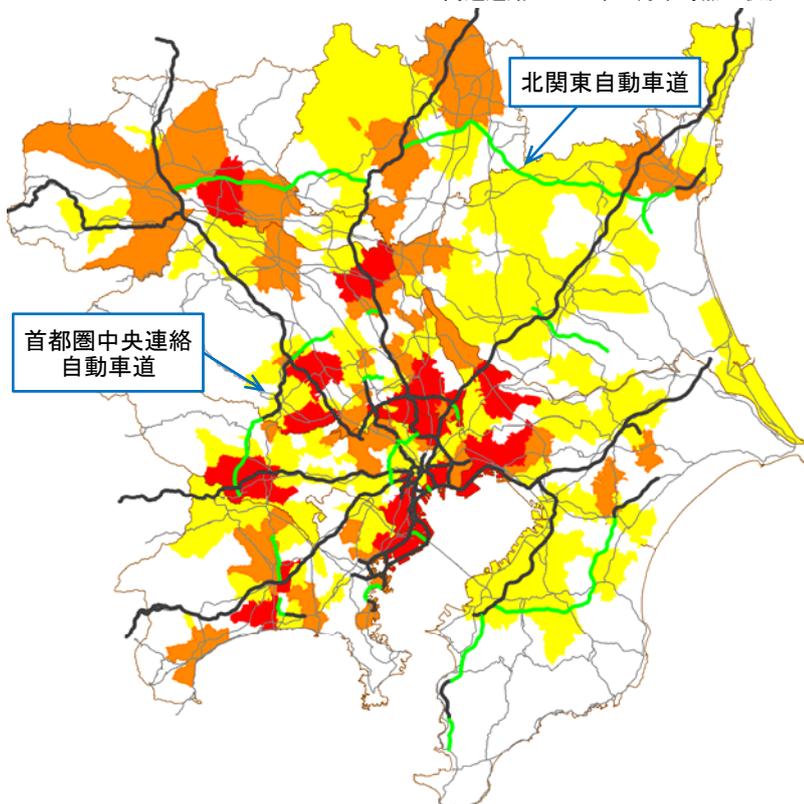
2. 第5回東京都市圏物資流動調査の結果について

◆近年の物流施設の立地状況

- ・京浜港に近接した臨海部のほか、内陸部では圏央道(首都圏中央連絡自動車道)をはじめとする高速道路沿いを中心とした輸送の便のよいエリアへの物流施設の立地が進んでいます。
- ・第5回物資流動調査から調査対象圏域に加わった茨城中部・栃木南部・群馬南部も、北関東自動車道沿いを中心として、物流施設の立地がみられます。

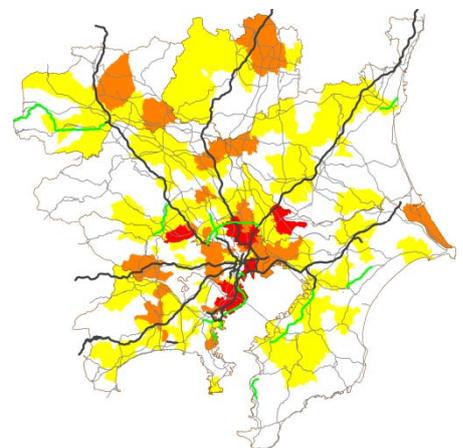
<2000年以降に開設した物流施設の立地件数(市区町村別)>

* 高速道路は2013年12月末時点の状況



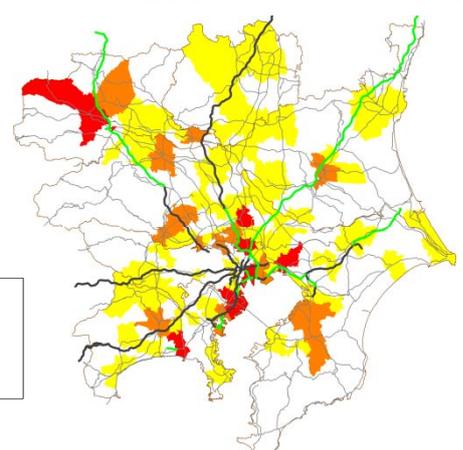
<参考:1990~1999年に開設>

* 高速道路は1999年12月末時点の状況



<参考:1980~1989年に開設>

* 高速道路は1989年12月末時点の状況



凡例 市区町村別の物流施設の立地件数

黄色	新たな事業所の立地が10~29件
オレンジ	新たな事業所の立地が30~59件
赤	新たな事業所の立地が60件以上

凡例 道路種別

緑線	その年代に開通した高速道路
黒線	前年代までに開通した高速道路
灰色線	国道



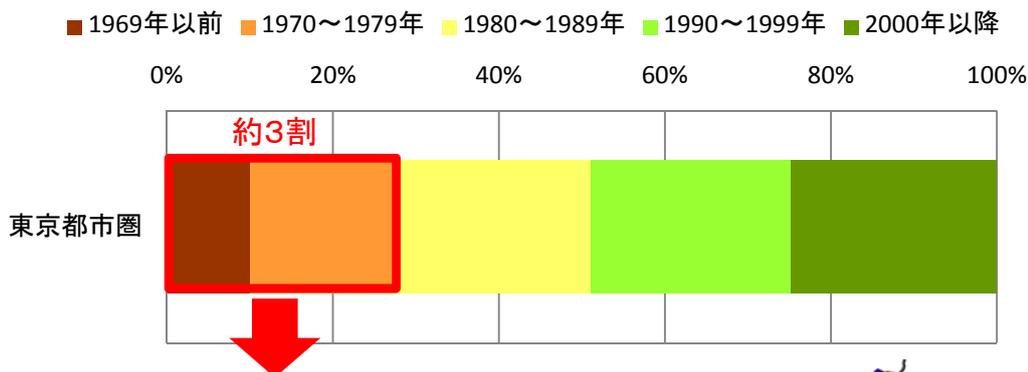
今後の検討では・・・

物流施設の立地場所の現状やこれまでの動向を分析することにより、東京都市圏内において適切な立地を促すための支援の方向性を検討していきます。

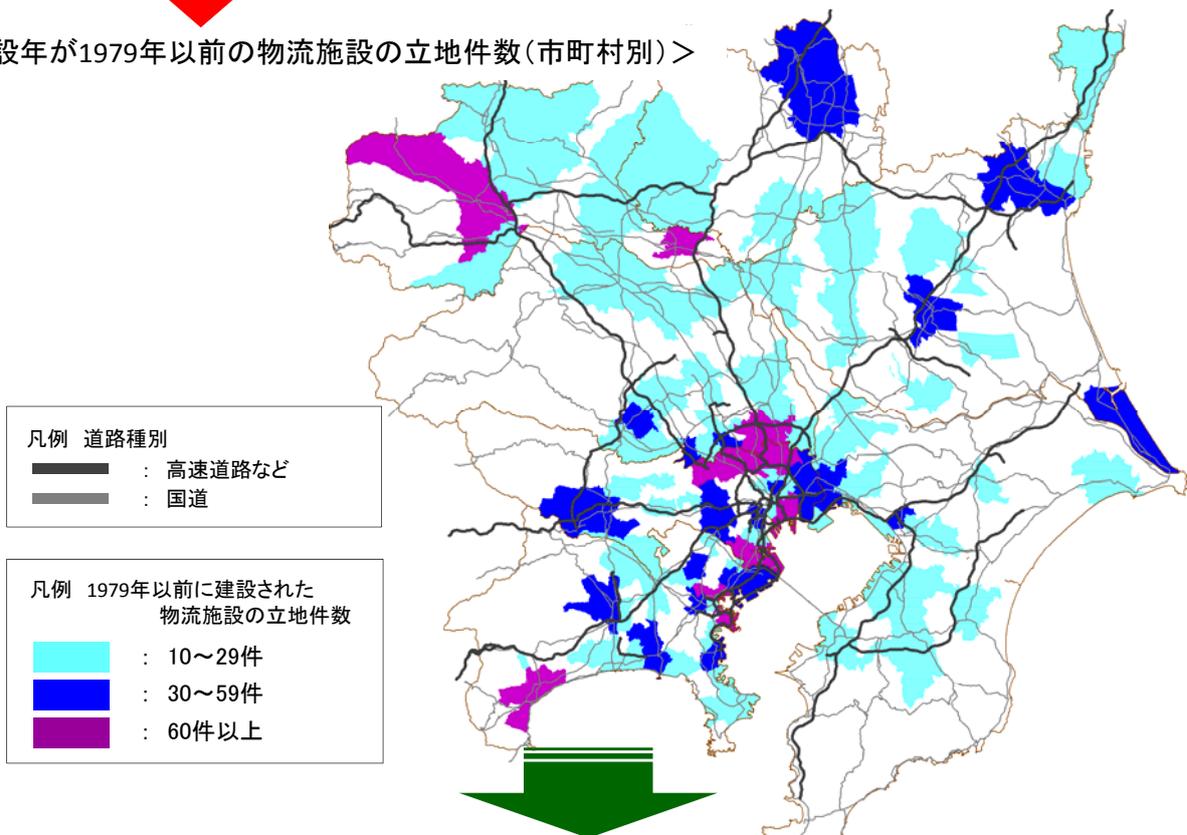
◆物流施設の老朽化の状況

- ・東京都市圏に立地している物流施設の中には、建設から30年以上が経過した物流施設も存在しており、東京湾沿岸の臨海部のほか、内陸にも分布しています。
- ・老朽化した物流施設は、グローバル化などの物流を取り巻く状況が変化する中で、近年の物流ニーズに必ずしも十分な能力を発揮できていない可能性があります。また、災害時における安全性も確保できていないことが懸念されています。

<都市圏全体の物流施設建設年代の割合>



<建設年が1979年以前の物流施設の立地件数(市町村別)>



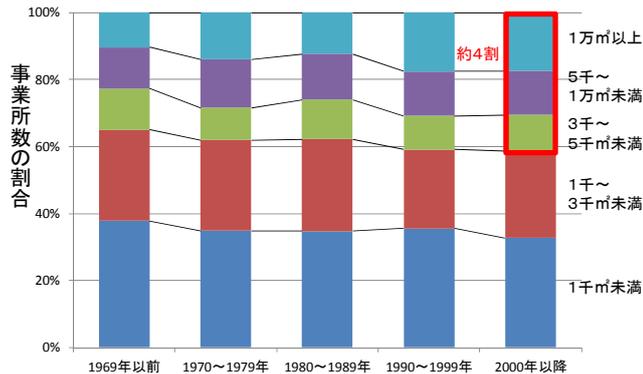
今後の検討では・・・

東京都市圏の物流施設の中には老朽化している施設もみられます。こうした物流施設について適切に機能更新を促すための支援の方向性を検討していきます。

◆ 物流施設の大規模化の状況

・敷地面積が3千㎡以上の大規模な物流施設の立地の割合が、開設年代2000年以降の施設では約4割となっており、物流施設の大規模化が進んでいます。

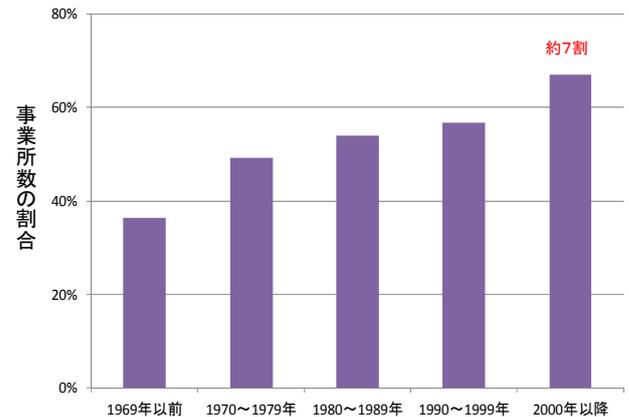
<開設年代別にみた物流施設の敷地面積規模の構成比>



◆ 賃貸型の物流施設の立地の状況

・自ら物流施設を持つ事業所の割合が年々減少傾向にあり、開設年代2000年以降では賃貸型の物流施設の割合がおよそ7割を占めています。

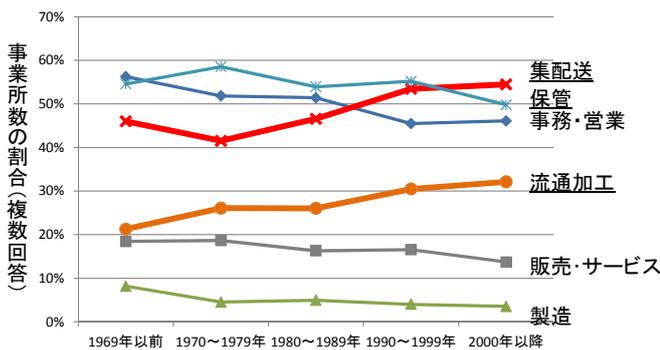
<開設年代別にみた賃貸型の物流施設の割合>



◆ 物流施設の保有機能の状況

・集配送や保管のみならず、商品・製品の組立、詰合せ、包装、値札付け、検品といった流通加工と呼ばれる機能をもつ物流施設の立地が進んでいます。顧客の多様なニーズに応える形で、物流施設の役割も多機能化・高機能化してきています。

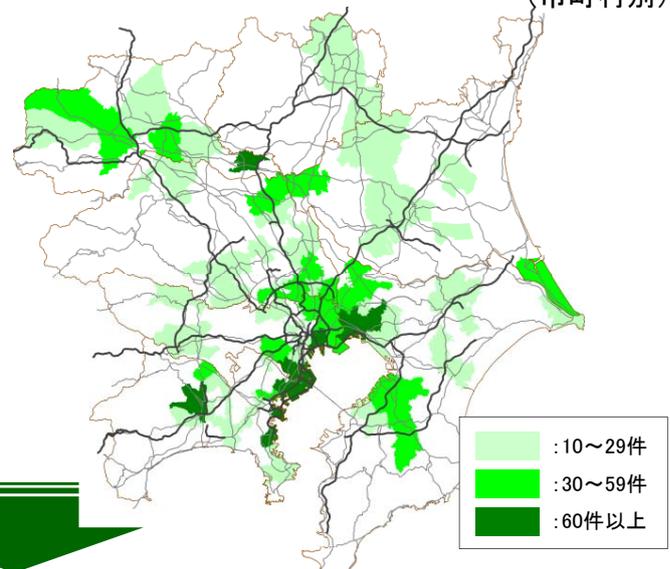
<開設年代別にみた物流施設の保有機能の割合>



◆ 搬出入圏域が海外の物流施設の立地の状況

・海外を搬出入圏域とする貨物を取り扱う物流施設は、東京湾沿岸の臨海部を中心に多く立地しています。

<海外を搬出入圏域とする物流施設立地件数>
(市町村別)



今後の検討では・・・

物流施設の適切な立地を促す支援の方向性を検討するため、東京都市圏に立地している物流施設の特徴についても明らかにしていきます。

